



地球サミット「リオ+20」報告会
& アースダイアログ in 京都
～現地参加者の生報告と
これからの地球の未来に向けて～

「森林／先住民」

京のアジェンダ21フォーラム
ウータン・森と生活を考える会
石崎 雄一郎




石崎 雄一郎

1980年生まれ、大阪府出身

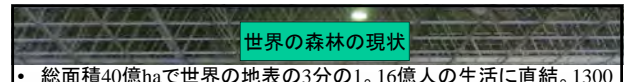
京のアジェンダ21フォーラム
ウータン・森と生活を考える会 <http://hutang.jimdo.com/>
ボルネオ保全トラストジャパン <http://www.bctj.jp/>
関西NGO大学 <http://ndai.net/>






第一章

『森林』を例にした「地球サミットの歩き方」

世界の森林の現状

- 総面積40億haで世界の地表の3分の1。16億人の生活に直結。1300億ドルの価値。食料、燃料、気候変動、生態系に大きな影響。(CPF)
- 熱帯地域においては1990年から2000年の10年間で、日本の国土面積の3倍以上に相当する面積の森林が減少。
- 世界の森林は、農地等への転用、森林火災、過放牧等により、熱帯を中心に年間約1,290万ha減少(2000～2005年)。
- 生物多様性の減少、砂漠化の進行、地球温暖化等、地球規模での環境問題がクローズアップ、各方面で森林の重要性が認識される。
- 国連森林フォーラム(UNFF)で、世界の持続可能な森林経営の達成に向け各国や国際社会が取り組むべき事項を盛り込んだ「全てのタイプの森林に関する法的拘束力を伴わない文書」が合意。
- 持続可能な森林経営を進める国際的な取組の1つにモントリオール・プロセスがある。(林野庁)
- 2011年は国連森林年で、教育と普及啓発のキャンペーン。




世界の森林の現状

- 森林減少・劣化に由来する温室効果ガスの排出(全世界の2割)を削減すること(REDD = reducing emissions from deforestation and forest degradation in developing countries)が気候変動対策で重要な課題。
- REDDは、過去の推移等から予想される森林減少・劣化からの排出量と実際の排出量との差に応じて資金などの経済的インセンティブを付与し、これにより森林減少の抑制を図る考え方。発展途上国での森林保全・植林等によるクレジットの創出・利用が期待。森林の保全等も対象としたものをREDD+(プラス)と呼ぶ。成功すれば、低炭素産業創出、森林地域の貧困削減、生活向上、生態系保全に効果的と目算。
- 違法伐採問題は、地球規模での環境保全、持続可能な森林経営の推進にとって極めて重要な課題である。(林野庁)




世界の森林の現状

ゼロドラフト「THE FUTURE WE WANT」

UNITED NATIONS
January 10, 2012
THE FUTURE WE WANT

TABLE OF CONTENTS Parags

I. Preamble Stage setting
Vision..... 1-5

II. Renewing Political Commitment
A. Reaffirming Rio principles and past action plans..... 6-9
B. Assessing the progress to date and the remaining gaps in the implementation of the outcomes of the major summits on sustainable development and addressing new and emerging challenges (Integration, Implementation, Coherence)..... 10-16

(森林は128パラグラフのうち1トピックのみ)

[Forests and biodiversity] 90. We support policy frameworks and market instruments that effectively slow, halt and reverse deforestation and forest degradation and promote the sustainable use and management of forests, as well as their conservation and restoration. We call for the urgent implementation of the “Non-Legally Binding Instrument on all Types of Forests (NLBI)”.



世界の森林の状況


CIFOR(国際林業研究センター)のゼロドラフトへの見解

主催者は7つの重要事項(雇用、エネルギー、都市、食料、水、海洋、災害)を指摘しているが、森林はほとんどふれられていない。

21世紀の重要な課題について議論する場であるリオ+20の中で森林を外すべきでない。森林は上記課題を解決するためにも重要

- ①森林は**エネルギー源**を供給する重要な構成要素であるが、新たなバイオマス燃料の供給のための土地変化で森林減少に直面
- ②森林は地域の**収入源**を供給する直接的な役割を果たしており、森林抜きに将来の**食糧安全保障**を語ることはできない
- ③森林流域は地上で利用されている**水の75%**を供給している
- ④森林は**気候変動**の抑制に寄与しており、また森林減少によりそれを加速している

(藤原氏)



どのようなことができるか



政策提言
↑
森林
↓
発信

← アクション →

← 情報収集 →




政策提言

NGO連絡会主催《NGOと政府の意見交換会》
ウータン・森と生活を考える会としての意見

**「大規模開発による熱帯林破壊をやめ、先住民の暮らしに学ぼう！
SAVEアマゾン！SAVEポルネオ！」**

1. 森林、生物多様性、大規模プランテーション開発について：

ポルネオでは、アブラヤシプランテーションやダム開発によって、熱帯林が減少し、オランウータンなどが絶滅の危機にあります。アマゾンでも、牛肉のための牧場転換、ダム開発、大豆プランテーション開発などで熱帯林が減少しています。これらは、生物多様性と気候変動にも重大な影響を及ぼします。COP10で名古屋議定書が発行され、日本は生物多様性のリーダー的役割を担い、未来へ向けて生物多様性を維持し、人類が幸せに暮らせる道を探ることが必要です。



政策提言


2. 開発と先住民の権利について：

開発により生きる場所を奪われてきた先住民がいます。彼らは昔から、森と共に自給自足の平和で持続可能な生活をしてきました。彼らに学び、大規模開発・大量生産・大量エネルギー消費の道を改める必要があります。

3. 原発問題について：

福島第一原発事故は続いており、政府の十分な謝罪と対応もなされていません。大量の放射性物質が大気中、海に放出され、被害は拡大しています。ウータンとしても生物多様性の観点や資源発掘が先住民に与える影響などから、見過ごすことはできない問題です。現在54基の原子炉は動いておらず、私たちは原発が不要と考えています。稼動していた原子炉はすべて廃炉にする、原発を輸出しない、再生可能エネルギーにシフトしていくことが責任の取り方だとアピールしたいと思います。

政府＋記者に対してもアピールの機会⇒後に先住民の記事の取材

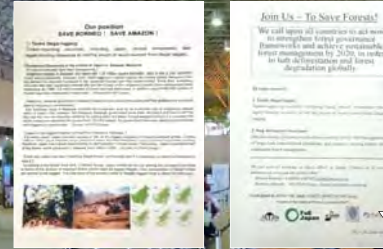


政策提言

NGOからのメッセージ要約集⇒日本政府へ





政策提言



ポジションペーパー プロポーザル

海外NGO含め
他NGOと共同提案

協力しながら
意見を出し合い修正
ネイティブチェックも



政策提言

2020年までに持続可能な森林管理の枠組みを強めるためすべての国に今すぐ行動を求めろ！

We call upon all countries to act now to strengthen forest governance frameworks and achieve sustainable forest management by 2020, in order to halt deforestation and forest degradation globally.

そのために

1. 違法伐採を停止する
2. 大規模プランテーション開発等破壊的な森林の使用禁止を提案する



政策提言

スタンスが明確でない政府関係者協力してくれそうなNGO海外メディアなどに手渡し・・

ロビー活動として・・



政策提言

そのほかにも・・

NGO・メジャーグループ全体会合でのアピール

国連事務局長との意見交換各グループに与えられる時間はほんのわずか・・



政策提言

FOREST

成果文章の変遷

ゼロドラフトで、128のパラグラフのうち1つ

↓

283のパラグラフのうち4つが割り当て

しかし、具体的な数値目標は盛り込まれず・・

ゼロドラフト前・NYの準備会合からのアプローチが必要



283のパラグラフのうち4つで言及(193-196) (藤原氏)

- ・森林再生、復元、および植林の持続可能な管理を実現する努力
- ・合法的な伐採、森林減少、劣化の少ない森林製品の推進、貿易
- ・途上国における森林減少と森林劣化による排出量の削減
- ・持続可能な森林経営を達成するために、森林のすべてのタイプの非法的拘束力のある文書に従い、森林ガバナンスの枠組みを強化

当初よりやや前進、重要な部分の記載は増えた


具体的な数値目標、期限に乏しい

森林生産物、造林=自然林の破壊につながる??

成果文書

全てのタイプの森林に関する法的拘束力を伴わない文書(NLBI)では2015年までに、下記のような期限を切った国際目標が合意されている

- ① 持続可能な森林経営を通じた森林の減少傾向の反転
- ② 森林由来の経済的・社会的・環境的便益の強化
- ③ 保護された森林及び持続可能な森林経営がなされた森林面積の大幅な増加と同森林からの生産物の増加
- ④ 持続可能な森林経営を実施するための財政措置の増加とODAの減少傾向反転



どのようなことができるか

政策提言

アクション

情報収集

発信



情報収集

インドネシア REDD+ taskforce

ガイアナとノルウェーの協力

たくさんのサイドイベント REDD+だけでも..

IMAZON ピープルズサミット

CIFOR 別会場で独自開催

会場内ではREDD+ 反対のデモも

情報収集

REDD+ 推進

インドネシア REDD+ TASKFORCE

ユドヨノ大統領はじめ国家主導のプロジェクト

Achieving sustainability through low carbon development? The Guyana story

インドネシア

2年で10億ドルのモラトリアム締結済み

ノルウェー

ガイアナ

2015年までに段階的に2億5000万ドル

RI(REDD+)20 情報収集

一方、NGO・先住民グループ等は、

『人、地域コミュニティ、先住民の権利などの視点欠如』

『森林管理が政府に一元化すれば、地域住民の権利が失われ、森林アクセス、資源採取が制約される』

『利益分配が不公平』(ステークホルダーの不参加)

『天然林を人工林へ転換することの防止』という予防措置(セーフガード)の記載削除(FoE japan)

などの理由で反対多数

情報収集

REDD+の比較

REDD+賛成	REDD+反対
一部の国	主にローカルNGO
一部の国際ナショナルNGO	先住民・女性グループ
・ポスト京都議定書の気候変動の枠組みへ大きな前進の可能性	・政府の一元管理により先住民等の権利が守られるか危惧
・うまく実行されれば、土地や資源に関するコミュニティの権利を強化し、利益分配によって収入増加にもなる(WWF)	・モノカルチャーや遺伝子組換え樹種などに使われる可能性
	・不十分なガバナンス
	・そもそも先進国側の消費に問題

情報収集

マレーシア・パビリオンでの衝撃的な光景

アブラヤシプランテーションは

熱帯林と合わせて70%以上あり

CO2を吸収し地球環境に貢献している

→典型的なグリーンウォッシュ

(環境によいと見せかけた商品やサービス)

グリーンウォッシュ

情報収集

小国のイニシアティブ

Conference Development

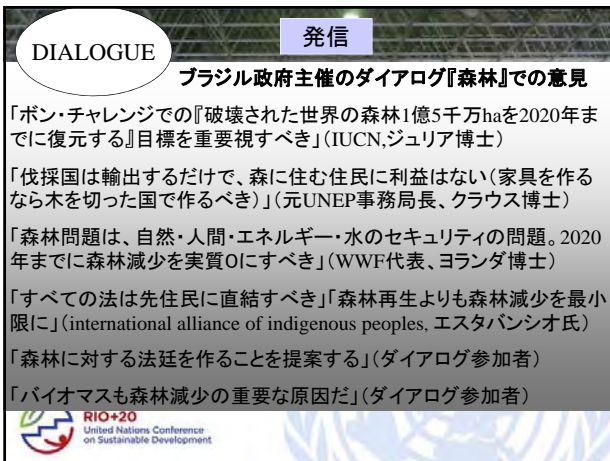
熱帯林を持つ国のネットワーク

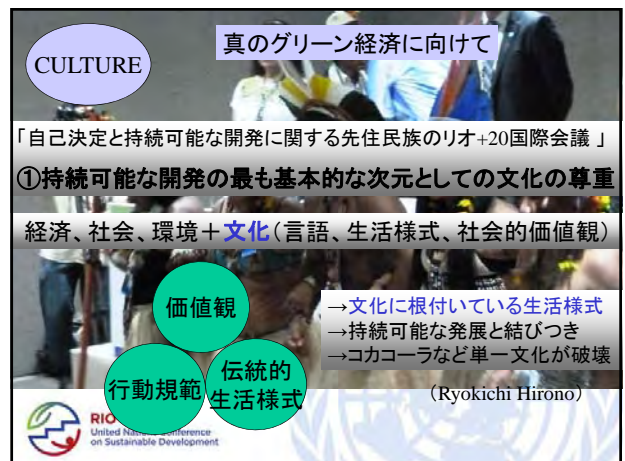
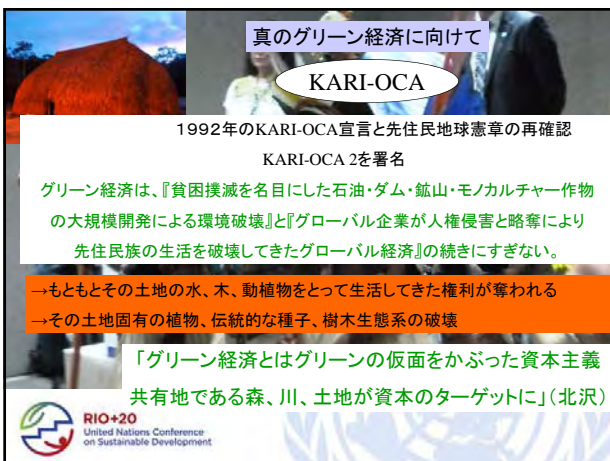
ガイアナ首相のイニシアティブ

アフリカの国々からアジア、南米に広げよう..


《グリーン経済が先進国から提案され進まないのと対照的に》

「今回のサミットで一番変わったことは、SDGsが南の国から提案され広がったこと」(クラウス博士)





CULTURE 真のグリーン経済に向けて
インドネシアの先住民バタク族
アブドゥン・ナババンさん



伝統的な農業・漁業など「持続可能な開発」を、私たちは何百年も前から実践してきた。低炭素社会、有機農業、グリーン経済もだ。約15年前に政府が製紙パルプ業社に私たちの森の1000平方キロ分の伐採権を与えた。森林減少、湖の水質悪化、金の採掘。漁などバタク族の自給自足の生活が脅かされている。

持続可能な開発に文化の尊重は不可欠だ。それを欠いた開発は植民地主義だ。日本企業も国内では日本の文化を尊重するのに、海外で開発事業を行う時はそこに根付く土着の文化を尊重していないのではないか。この点で成果文書は文化の尊重をもっと強調してほしい。

国連総会で「先住民の権利宣言」が07年に採択されたが、社会は先住民の権利を保護する方向に動いていない。今後も各国政府が先住民の権利を積極的に保護するための機関設立や先住民や市民が権利侵害に立ち向かう力をつけるための基金設立を訴えていく。(毎日新聞)



HUMAN RIGHTS 真のグリーン経済に向けて



②人権と集団的権利の完全な行使

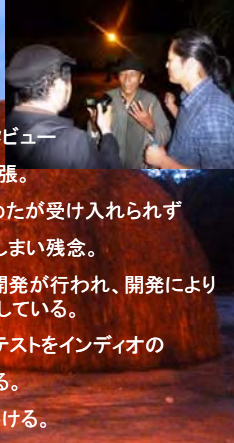
現代の発展モデルは、最も重要な価値である自然の多様性とそれに根付いた文化の多様性を破壊する危機をはらんでいる

持続可能な発展は、人権を満たしてこそ達成される

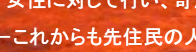
政策決定、立案、プロジェクトへの参加と決定の権利が必要



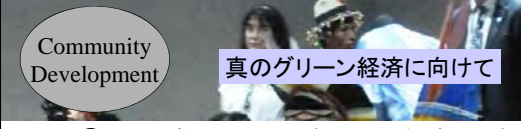
HUMAN RIGHTS 先住民村



チリの先住民マイマラ族リーダーへのインタビュー
ー南米部族が集まり、人権とテリトリーを主張。
成果文書に盛り込むため会合参加を求めたが受け入れられず
ーリオ+20の結果は資本主義で終わってしまい残念。
ーチリの我々の住む土地では違法な鉱山開発が行われ、開発により出た有害物質が川に流れ、病気になったりしている。
ービオネルシムケンタという会社が農業のテストをインディオの女性に対して行い、奇形児が生まれている。
ーこれからも先住民の人権のために働きかける。



Community Development 真のグリーン経済に向けて



③土地の権利と地域に根付いた経済の活性化


地域に根付いた経済が、地域コミュニティを支え、生態系を支える

採掘産業、略奪への投資、強制移住、持続不可能な開発

・大規模ダム、プランテーション農業、タールサンド・

生物多様性と伝統的知識の盗難

に対して、我々の経済と我々の土地、領土と資源への権利を守る



Community Development 真のグリーン経済に向けて

マレーシア・パピリオンでの衝撃的な光景

アブラヤシプランテーションは
熱帯林と合わせて70%以上あり
CO2を吸収し地球環境に貢献している
→典型的なグリーンウォッシュ





GNH 真のグリーン経済に向けて

『YASUNI ITT』～最も感動的だったサイドイベント～

エクアドルの大統領コレア氏が、多様な生物が生息するヤスニ自然保護区の地下に眠る石油の採掘を放棄するかわりに得られたであろう収入の半分を国際社会に提供を呼びかけ。2010年エクアドル政府と国連開発計画により基金設立。

- ・ベルギーのWallonia地方が1,5millionUSDドルを投資するでサイン
- ・国連Womenの事務局長Bachelet 氏「環境保全への新たな模範」
- ・UNDPHelen氏
「発展途上国が経済の犠牲を払い表明したイノベーションモデル」
- ・コレア氏のスピーチ



GNH

真のグリーン経済に向けて

ヴァンダナ・シヴァ

気候変動、熱帯林減少、先住民の人権の危機、現代の問題はすべてがつながっており、新しい解決が必要である。

ヤスニITTは、すべてを複合した新しい視点の解決策であり

GNH(Gross National Happiness、国民総幸福量)と組み合わせれば明るい未来をもたらす可能性



RIO+20
United Nations Conference
on Sustainable Development

真のグリーン経済に向けて

地域の人が、地域の資源を使い、伝統的なやり方で、グローバル自由主義経済に流されない方法で発展する


グローバル自由主義経済に対し、「文化の尊重」「先住民の権利」「GNHの視点」などが組み込まれた経済を目指す

日本にいる私たちができること

消費を見直そう

- ・現地の人の権利が守られ雇用につながっているか
- ・本当に環境にいいのか

今の自由主義経済成長のあり方が本当に正しいかを考えよう



RIO+20
United Nations Conference
on Sustainable Development

真のグリーン経済に向けて

地域の人々が、地域の資源を使い、伝統的なやり方で発展する

AMAZONの取り組み



RIO+20
United Nations Conference
on Sustainable Development



アマゾン川岸の村



RIO+20
United Nations Conference
on Sustainable Development



かつて不法移民だった人々の村



RIO+20
United Nations Conference
on Sustainable Development



ありがとうございました！
Obrigado !



RIO+20
United Nations Conference
on Sustainable Development